

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 10. 17

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）田辺（福浜小）八谷（幡多小）福井（伊島小）

綿の実のがくを用いたオブジェ， ドングリやパパイアの種で作った鳥， まつぼっくりのやじろべえ…。サイエンスフィールドの展示が秋色に変わりました。いつも卓越した技術で楽しいグッズを作ってくれる倉橋先生が体調をくずされ， しばらく例会に出席できなくなりました。早く元気になって復活してもらいたいと思います。

【福浜小植物ガイド】 田辺

実践中の福浜小植物ビンゴ。生き物ビンゴをやってみたところ子供達の反応がとても良かったようです。何を観察すればよいかの視点を与えたことと， 観察にゲームの要素を取り入れたことが子供達の興味を喚起したのでしょう。一人ひとりの子供が持つ課題意識の方向性を尊重していくことと教師がこの単元に対して持つねらいとのへだたりをいかに折り合いをつけてやっていくか， 大きな課題が見えてきたようです。

【青少年のための科学の祭典倉敷大会】

今月27， 28日に倉敷科学センターで行われる青少年のための科学の祭典倉敷大会についての計画をたてました。今回は『プロペラゴマをとぼそう』というタイトルで吹きゴマ作りのブースを出します。

【滑石（かっせき）で勾玉を作ろう】 高松

高松先生が教研で仕入れてこられたネタ。城南小の安河内先生が紹介されたものだそうです。滑石とは子供の頃， 道路に絵を描いて遊んでいた『ろう石』のことで， 石材店の人が石に下描きをするのに現在でも使っているということです。滑石をサンドペーパーで磨くと出てくる粉は， シッカロールではないかという話になりましたが真偽の程は分かりません。

【ミニたこ焼き型で鉛の文鎮】 高松

100円ショップで売っているたこ焼き型で鉛を溶かして文鎮を作ります。鉛は型に直接入れ， ハンディバーナーで豪快に溶かします。実用的な文鎮ができます。

【新聞紙・コマの手品】 福井

新聞とコップを使ってコインを消す手品はMr. マリックの番組から， 板の上に置かれた5つのコマのうち任意の一つだけを回す超能力は『伊東家の食卓』からいただきました。

【野依博士は偉い！】 福井

ノーベル化学賞の受賞が決まった野依博士の言葉が新聞紙に載っていた。その主張が前の週に福井が教研集会で発表した内容に酷似していたので驚くやら， 嬉しいやら…。野依博士は偉い！

